

# ビルトイン電気クッキングヒーターをIHクッキングヒーターに取り替え上のチェックポイント

## ビルトインタイプ

ビル  
トイ  
ンタ  
イプ

確認するところ	現 状	対 応	備 考								
1.設置状態とワークトップまでの コンロの高さを確認  (1) 下部がフローアー キャビネット 	(1) 高さ270mmの商品があります。	⇒(1) この場合、隙間ができますので別売部材の前パネルが必要です。	  								
	(2) 高さ220mmの商品があります。	⇒(2) そのまま対応できます。									
	(3) 高さ150mmの商品があります。	⇒(3) 別売部材の置台が必要です。 また、別売部材の台輪が必要な場合もございます。									
(2) 下部が 電気オープンレンジ  	(1) 高さ270mmの商品があります。 (2) 高さ220mmの商品があります。 (3) 高さ150mmの商品があります。	<ul style="list-style-type: none"><li>高さ220mmのNK-2310、NK-2311は排熱ファンユニットを取り除き、電気オープンレンジ側で高さ調節してください。</li><li>高さ270mm、150mmは電気オープンレンジ側で高さ調節してください。</li></ul>	電気オープンレンジ NE-DB1000※〈200V〉   ※NE-DB1000(ストッカー NE-DU100S/Kが必要)								
(3) 下部が電気オープン  	(1) 高さ270mmの商品があります。(キッチン高さH=850)	⇒(1) この場合、隙間ができますので別売部材の前パネルが必要です。	 ※NE-DB1000(ストッカー NE-DU100S/Kが必要)								
	(2) 高さ220mmの商品があります。(キッチン高さH=800)	⇒(2) NK-2310、NK-2311は排熱ファンユニットを取り除き、隙間隠しのため、前パネルを取り付けてください。 その他の機種はそのまま対応できます。 ※電気オープン付レンジユニット台を取り替える時は、電気オープンレンジと取り替えてください。									
	(3) 高さ150mmの商品があります。	⇒(3) 電気オープンレンジないし、フローアーキャビネットへの交換が必要です。									
2.間口寸法を確認  間口寸法が小さい または大きいと 取り替えはできません。 	(1) 間口寸法600mm	⇒(1) そのまま対応できます。	(取替え予定機器の、外形寸法図も ご確認ください。)								
	(2) 間口寸法が小さい(例:590mm) または大きい(例:700mm)場合	⇒(2) 小さい場合、ロースタードアとサイドカバー(左右)が入りませんので取り替えできません。大きい場合、ロースタードアとサイドカバー(左右)の左右側面にすき間ができますので取り替えできません。									
3.ワークトップ開口部の横幅×奥行の寸法 を確認  	(1) 横幅→560mm、奥行→460mmが一般的	⇒(1) そのまま対応できます。									
	(2) 横幅→550mmがあります。	⇒(2) ビルトインタイプのIHは、本体左右のスペーサ(2カ所)を取り外せばそのまま取り替えできます。 ※以下除く KZ-XS30C/XK30C及びグリルレスタイプの1口・2口IH									
	(3) 横幅→410mm、奥行→460mmがあります。	⇒(3) KZ-HS20APへ取り替えてください。									
4.ワークトップ前垂れ寸法とワークトップ 開口部までの 基準寸法を確認  	<table><tr><td></td><td>基準(B)寸法</td><td>前垂れ寸法</td></tr><tr><td>現行設置機種</td><td>50mmとA+45<sup>+15</sup><sub>-5</sub>mm</td><td>30～40mmと42mm以下</td></tr><tr><td>買い替え機種</td><td>A+45<sup>+15</sup><sub>-5</sub>mm</td><td>42mm以下</td></tr></table>		基準(B)寸法	前垂れ寸法	現行設置機種	50mmとA+45 <sup>+15</sup> <sub>-5</sub> mm	30～40mmと42mm以下	買い替え機種	A+45 <sup>+15</sup> <sub>-5</sub> mm	42mm以下	<ul style="list-style-type: none"><li>前垂れ寸法が42mmを大きく超えるワークトップには取り替えできない場合があります。</li><li>基準(B)寸法 A+45<sup>+15</sup><sub>-5</sub>とは、IH本体前面とキャビネット前面が合致する許容寸法範囲です。 【例】A=10 の場合、B=48～70であれば、IH本体前面とキャビネット前面を揃えることが可能です。 よってB=80の場合は、IH本体前面がキャビネット前面に対して10mm奥まります。</li></ul>
		基準(B)寸法	前垂れ寸法								
現行設置機種	50mmとA+45 <sup>+15</sup> <sub>-5</sub> mm	30～40mmと42mm以下									
買い替え機種	A+45 <sup>+15</sup> <sub>-5</sub> mm	42mm以下									